

発行 豊頃町
〒089 - 5392
中川郡豊頃町茂岩本町 125 番地
☎ 015(574) 2216
発行日 2017 年 5 月 1 日
編集 豊頃町企画課広報情報係
豊頃町議会運営委員会



今月の表紙

今月の表紙は4月10日に行われた大津小学校の入学式後の全校児童の写真です。式を終えたあとの児童たちは、緊張が少し解けたようで、素敵な笑顔をカメラに向けてくれました。

役場などの連絡先

- ◆役 場
☎ (574) 2211 (代表)・FAX (574) 3750 (総務課)
- ◆各課等 (ダイヤルイン)
総 務 課☎ (574) 2211
出 納 室☎ (574) 2212
住 民 課☎ (574) 2213
福 祉 課☎ (574) 2214
施 設 課☎ (574) 2215
企 画 課☎ (574) 2216
産 業 課☎ (574) 2217
農業委員会☎ (574) 2218
議会事務局☎ (574) 2222
教育委員会 (教育課)☎ (579) 5801
(図書館)☎ (579) 5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
大津支所☎ (575) 2021
こどもプラザとよころ☎ (574) 3931
保健センター☎ (574) 3141
給食センター☎ (574) 4600
社会福祉協議会☎ (574) 3143
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンタ ☎ 0120 (860) 023
〔24 時間 365 日受付〕

ホームページ

豊頃町 <http://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会 <http://toyokoro-shakyo.com/>

豊頃町の人口と世帯

3 月 31 日現在 (前月比)
住民基本台帳に基づく
人口 3,219 人(ー 5)
男 1,538 人(ー 1)
女 1,681 人(ー 4)
世帯 1,481 世帯(ー 10)

町内の交通事故

平成 29 年 1 月 1 日
～ 4 月 10 日 (前年比)
交通事故死ゼロ 645 日
発生 0 件(0)
死者 0 人(0)
傷者 0 人(0)

目次

CONTENTS

02 クローズアップ人

豊頃町立豊頃医院 医院長 山本 馨さん

広報とよころ

- 04 特集 第 4 期宮口町政スタート
- 06 NEW FACE 「小・中学校に転入された先生方を紹介します」
「役場の新規採用職員を紹介します」
- 08 空き家・空き地利活用事業補助金
青年女性交流推進助成金
- 09 はるにれは見ていた「入学式」ほか
- 12 国民年金からのお知らせ
「新たに年金を受け取れる方が増えます！」
- 13 駐在だより「自転車の安全利用の促進」ほか
地域安全ニュース「犯罪発生状況」ほか
- 14 健康だより「国保特定健診のお知らせ」ほか
- 17 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信
- 18 豊頃町民プールオープン
- 19 二宮尊親の村づくり「豊頃町二宮報徳館」
- 20 みんなの図書館「読書通帳を配布しています」ほか
- 22 豊頃町次世代育成支援金を支給します
ジャンネット号！GO！
- 23 町民文芸 - 豊頃町人事発令 - 我が家のアイドル

議会だより

- 24 当初予算「60 億円の新年度予算を可決」
- 25 当初予算の主なもの
- 26 平成 28 年度補正予算・条例改正等
- 27 監査委員の選任・公平委員会の選任・固定資産評価審査委員会委員の選任・主な審議内容
- 29 一般質問
- 30 第 1 回臨時会・第 2 回臨時会・議会日誌

役場だより

- 31 INFORMATION ◎目次あり
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 「とよころ物産直売所」

ク	ロ	ー	ズ
			ア
			ッ
			プ

toyokoro people

地域医療を続けてきた集大成として

地域医療とは、寄り添う医学

黒沢明監督の映画「赤ひげ」がきっかけで医師になろうと決めた山本医師。この「赤ひげ」に理想を重ね、地域医療に専念したいと医師としての道歩んできました。だからこそ山本医師は「地域医療とは」と問われたとき、**「寄り添う医学」**と答えるのだと思います。

平成 11 年から平成 19 年までは後志管内倶知安町で山本内科消化器医院を開業し、その後、平成 19 年から平成 29 年 3 月

まで宮城県気仙沼市の離島・大島にある大島医院で医院長を 10 年務めました。この大島の生活では、「東日本大震災」も経験されました。大島医院は高台にあったため津波の被害は免れましたが、電気や水道などのライフラインは全て停止し、島と本土を結ぶ唯一の交通手段であるフェリーも被災。本島の「孤島」となりました。

周囲とのアクセスを断たれてしまったことで薬の供給も止まり、離島医療の限界を改めて痛感されたそうです。その後、様々な機関の協力を得て、島民と共に震災を乗り越えられました。そうした経験を積み重ね、「地域医療の集大成」として、豊頃町へ赴任されました。

「胃」よりも「腸」の研究を

東北大学医学部を卒業後、福島県内の病院に勤務したのち、同大に戻って 2 年間、日本人の食生活の変化から「胃よりも腸の研究を」と考えた山本医師は、大腸を専門に研究されました。その当時は胃を研究する医師は大勢いたものの、腸を研究する医師はほとんどいなかったそうです。ここで培われた腸の研究により「大腸」が専門となった山本医師。

今後、山本医師により「大腸ファイバー（大腸内視鏡）」による大腸がん検診が導入されます。大腸がんは一般的に自覚症

状がなく、早期に大腸がんやポリープを見つけることが大切で、豊頃町でも、より身近に大腸がん検診を受診することが可能になりました。

愛妻家の山本医師

豊頃町には妻・洋子さんと共に転入。引越しをされた 3 月 27 日は霧がかっていたそうです。その光景を見た山本医師は「妻は霧やもやが好きだから、歓迎の意味だと思った」と笑顔で話されました。

今まで各地の地域医療に貢献してきた山本医師は、現在は洋子さんと 2 人暮らし。今回の引越しも荷物が多く、洋子さんの協力で大変助かっているそう。今までの引越しも含め、「洋子さんの支えがあつてこそ」と語られました。

山本医師の趣味は「フィルムカメラ」。カラー写真を撮ることもあるそうですが、モノクロの質感が好みだそうです。

豊頃町にある「ジュエリーアイス」も撮ってみたい風景の一つ。釣りも趣味で、これから豊頃町の生活を楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

豊頃町の地域医療を支える山本医師。山本医師から、今後の豊頃町の医療に対する熱意を語っていただきました。